

<b>Title</b>	大塚久雄における『歴史と現代』：没後 5 年を記念して (国際シンポジウム)
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.23 別冊, 2002.3 : 9-9
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4094">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4094</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

国際シンポジウム 大塚久雄における『歴史と現代』——没後五年を記念して

この十年、マルクス主義的社会主義の希望は失せ、ポストモダンを主導するかにいわれた日本社会への信頼が揺らぎ、アメリカ型グローバルゼーションも、世界にさまざまな緊張と軋轢を生んでいる。

今日われわれはどこにいて、どこに向かっているのか。

戦中から戦後にかけて、大塚久雄は比較経済史研究を通して、多くの人々に希望を与えた。大塚が取り組んだ、自由な市場経済と民主主義の原点の究明は、今日なお、清算すべき過去の「負の遺産」と、継承すべき将来への「正の遺産」とを、われわれに示唆するであろう。